



平成 26 年 4 月 1 日
『横浜都心部コミュニティサイクル事業』
“baybike” スタート
～次世代システムを早期に導入します～

日本最大規模

横浜市は活力と魅力あふれる都心部の機能強化を進めています。
その一環として、横浜市と N T T ドコモは、都心部活性化、観光振興
および低炭素化に寄与する取組として、コミュニティサイクル事業を
本格実施します。

平成 23 年度より 3 年間実施した「横浜都心部コミュニティ
サイクル社会実験」の成果をもとに、さらなる利用の増加と普及を目指します。

横浜コミュニティサイクル
baybike

1. 事業の概要

(1) 期 間：平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

(事業者との協議により、最大 10 年間まで延長)

(2) 区 域：横浜都心部（みなとみらい 21 地区、関内地区等を基本とします。）

(3) 規 模：自転車台数 400 台配置、貸出・返却拠点（サイクルポート）34 か所

■事業開始に伴い、新規サイクルポートがオープンします。

「清水建設 MM21-46 街区プロジェクト(横浜アイマークプレイス)」敷地内（5 月予定）

規模の拡大等について

・将来的に 1,000 台規模を目指します。

自転車台数(400 台)は、日本最大の規模となります。

今後は、利用状況等を見ながら実施区域と規模を順次拡大し、
1,000 台程度まで運用台数を増強することを目指します。

※P.3「(イメージ図)コミュニティサイクル 実施区域」参照

・平成 26 年度中に「次世代コミュニティサイクルシステム」
を導入します。

新たに導入する「次世代コミュニティサイクルシステム」は、
電動アシスト機能付き自転車に通信システムが融合したものと
なります。これにより、さらに快適性および利便性の向上を
目指します。



<イメージ写真>

次世代コミュニティサイクルシステム

※次世代コミュニティサイクルシステム導入までの間、現行の登録および利用方法でご利用いただけます。
登録方法や、サイクルポートの場所などは、別紙 1 をご覧ください。

(4) 役割 :

○実施主体 (横浜市) の役割

- ・本事業全体の統括
- ・利用促進のため、利用料金の一部を負担
- ・運営事務所、ポート候補地の確保
- ・コミュニティサイクル推進のための広報
- ・市職員の業務上での利用推進
- ・観光・環境施策、道路管理者等と連携 等

○運営主体 (NTT ドコモ) の役割

- ・コミュニティサイクルの施設整備および運営 (ポート設備や自転車等の設置、管理)
- ・採算性を確保するための付帯事業実施
- ・事業規模拡大のためのポート用地確保
- ・利用促進のための広報
- ・商業・観光施設、公共交通等との連携 等

2. 「次世代コミュニティサイクルシステム」の概要

(1) 主な特徴

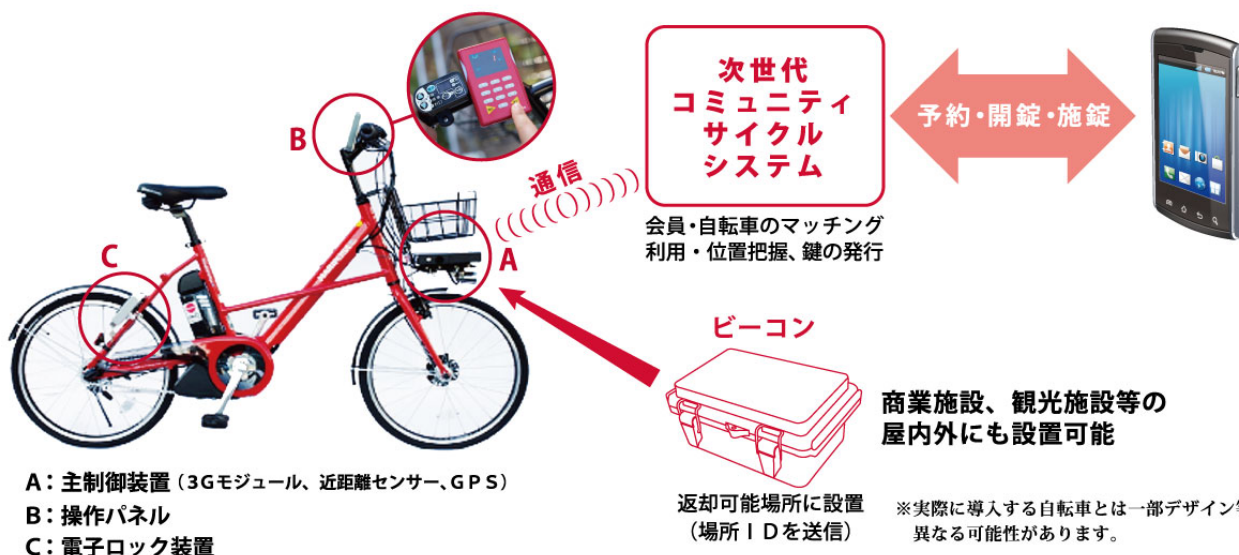
- ・NTTドコモが開発したポートレス型の通信システム付自転車で、自転車本体に、通信機能やGPS機能、遠隔制御機能を搭載。
- ・自転車本体のみで運営できるため、従来よりも、駐輪スペースがコンパクトに設置が可能。また、駐輪場の柔軟な設置・再配置が可能。
- ・従来必要であった専用の駐輪場システムが不要なため、導入コストが大幅に低減可能。
- ・遠隔からの自転車監視や、蓄積された位置履歴情報の分析活用が可能となり、盗難防止にも有効。
- ・幅広い年齢層の方にご利用いただけるよう、バッテリー電源を使用した電動アシスト機能を搭載。

	従来システム	次世代コミュニティサイクルシステム
機械式専用ポート	必要	不要
電気工事	必要	不要
GPS機能	非搭載	搭載

(2) 自転車本体:

(利用イメージ)

- ・操作パネルにて貸出・返却の操作を実施する。
- ・予約時に付与される暗証番号を入力することで、利用開始できる。
- ・利用開始後、利用時間が表示される。
- ・手動で施錠した後、終了ボタンを押すことで、利用終了となる。



3. 添付資料

- (1) 横浜コミュニティサイクル「baybike」概要 別紙1
- (2) 配布用チラシ

【参考】社会実験の成果

(1) コミュニティサイクルの規模拡大に伴い、登録者数および利用回数は順調に増加しました。

規模の拡大

- サイクルポート数の増加
14か所 ⇒ 34か所
- 自転車台数の増加
100台 ⇒ 300台

利用の増加

- 登録者数 約 19,000人
- 利用回数の推移
114回/日（平成23年度）
⇒約400回/日（平成25年度）

※登録者数および利用回数は、平成25年度末の実績見込みです。

(2) 付帯事業として、車体広告を実施しました。

※下記<写真>「コミュニティサイクル車体広告」参照。

●実験期間中、コミュニティサイクルの「車体広告」を実施しました。横浜都心部の景観に配慮した唯一の自転車広告媒体として、今後も活用していく予定です。



<写真>コミュニティサイクル車体広告



<イメージ図> コミュニティサイクル実施区域

■登録、ご利用方法等のお問合せは・・・（一般のお客様窓口）

baybike 運営事務局 Tel 0120-319-015

<http://docomo-cycle.jp/yokohama>

受付時間：10:30～19:00（月・水・金）／9:30～18:00（土日祝）

お問合せ先

横浜市都市整備局都市交通経営担当課長 中村 和久 Tel 045-671-3122
株式会社NTTドコモ 広報部 Tel 03-5156-1366

横浜コミュニティサイクル「baybike」概要

1. サービス提供概要

名称	横浜コミュニティサイクル「baybike」(ベイバイク)
提供開始日	平成 26 年 4 月 1 日(火)
実施主体/運営事業者	横浜市/NTTドコモ
ポート数、自転車台数	34 か所、400 台
ご利用可能時間	6:00~22:00 ※1
お問い合わせ先	0120-319-015 受付時間：10:30~19:00(月・水・金) / 9:30~18:00(土日祝)

2. ご利用料金(税抜金額)

プラン	基本料金	延長料金	決済方法	予約
月額会員	1,500 円/月	1 回のご利用が 30 分を超過した場合 100 円/30 分	クレジットカード	ご利用の 30 分前から 予約可能
1 回利用	100 円/回			×

3. 会員登録方法

<会員登録に必要なもの>

- ①クレジットカード
- ②E-mail 受信可能な携帯電話
- ③会員証(交通系 IC カード、おサイフケータイ機能付き携帯電話、専用 IC カード※2 のいずれか 1 つ)

(1) baybike 登録カウンターにて登録

登録カウンターに設置している無人登録機に必要な情報(氏名、携帯電話番号、メールアドレス、クレジットカード情報 等)を入力後、会員証を無人登録機にかざすことで会員登録ができます。※3

(2) ポートで登録

おサイフケータイをポートに設置しているコントロールパネルにかざすと、メーラーが起動します。空メールを送信すると、会員登録用の URL が送信されます。

URL にアクセスし、必要情報を入力することで会員登録ができます。

(3) ウェブサイトで仮登録

ウェブサイト(<http://docomo-cycle.jp/yokohama>)にアクセスして、必要情報を入力します。仮登録完了メール受信後、登録カウンターにて、無人登録機に会員証をかざすことで、会員登録ができます。

また、おサイフケータイを会員証とする場合は、ポートでも登録が可能です。

※1 一部ポートでは営業時間が異なります。

※2 専用 IC カードを会員証にする場合は、別途 500 円(税抜)がかかります。

また、専用 IC カードを郵送で受け取る場合は、別途郵送料 400 円(税抜)がかかります。

※3 馬車道運営事務所登録カウンターのみ有人対応となります。

4. 提供エリア



<登録カウンター>

■馬車道運営事務所登録カウンター

営業時間：(定休日：火・木)

月・水・金 / 10:30-19:00 土日祝 / 9:30-18:00

住所：横浜市中区本町6丁目67番の1

■ベイバイク横浜三井ビルディング登録カウンター

(デジタル観光インフォメーション内)

営業時間：11:00-18:00

住所：神奈川県横浜市西区高島1丁目1番の2

■みなとみらい駅構内 無人登録カウンター

(みなとみらい線 みなとみらい駅B3階

マークイズみなとみらい連絡口改札横)

営業時間：24時間(駅構内開放時間に準ずる)

住所：神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目

5. ご利用方法

●自転車の貸出方法



①

コントロールパネルに登録済みのICカード、または、携帯電話をかざします。



②

利用可能な自転車ラックのボタンが点灯 → 押してください。



③

自転車のロックが解除されます。また、ワイヤー錠の番号がメールで送信されます。

●自転車の返却方法



①

コントロールパネルに登録済みのICカード、または、携帯電話をかざします。



②

返却可能な自転車ラックのボタンが点灯 → 自転車を「カチッ」と音がするまで押し込んでください。返却完了メールが送信されます。

⚠ ワイヤー錠は、必ず元の位置にくくりつけて返却してください。